

2018年 11月9日(金)

「5年 ハンガーバンケット」

5年生は、ハンガーバンケット(飢えの宴会)という、世界のさまざまな食文化・食糧事情を知り、世界の貧困を考える体験型プログラムを行いました。



はじめに、『地球の食卓—世界 24 か国の家族のごはん』(TOTO 出版)から、世界の一週間分の食糧を写真で見ます。



その後、子どもたちはくじを引き、実際の世界の飢餓人口の割合をもとにした、飽食の第1世界、1日一食の第2世界、十分食べることができない栄養不足の第3世界に分かれます。そして、それぞれの世界の1日分の食事を模したものをいただきます。



各クラスに戻り、体験した時の率直な思いを分かち合い、自分たちの日々の生活をふり返ます。

日本が捨てる食べ残しの量は、世界一ともいわれています。この『ハンガーバンケット』を通して子ども達と一緒に、同じ地球に生まれた人間同士が互いに労って生きるため、また、必要な資源を分かち合うためには何が大切なのか、何ができるのかを考えたいと、清泉小学校ではこのプログラムに毎年取り組んでいます。